

令和6年度第1回 日進市にぎわい交流館運営協議会議事録

日 時 令和6年5月27日（火） 午後6時00分から7時40分まで

場 所 にぎわい交流館会議室1・2

出 席 者 鈴木美佐子、篠崎伊都子、齋藤由美、村野政章、上野道子、
二文字屋脩、石原貴代、村上康司、辻井重則、奥澤弘子（敬称略）

欠 席 者 なし

事 務 局 小濱美紀（市民協働課長）、栗崎明子（市民協働課課長補佐）、
西澤寿一（市民協働課係長）、水谷大介（市民協働課主査）

指定管理者 小濱勇、寺田裕美、楠優子（敬称略）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有 1名

議 題 （1）令和5年度にぎわい交流館運営実績について
（2）令和6年度にぎわい交流館運営計画について
（3）令和5年度年次事業評価書
（4）その他

発 言 者	内 容
事 務 局	開会を宣す（午後6時00分）
	委員・事務局自己紹介
	委員長、副委員長の選任
	委員長あいさつ、副委員長あいさつ
事 務 局	以後の議事の取り回しを、委員長に依頼
委 員 長	会議の傍聴者の確認
	傍聴申し出有り 1名 入室を許可
	議題「（1）令和5年度にぎわい交流館運営実績について」と、議題（2） 「令和6年度にぎわい交流館運営計画について」に関して、説明を求め る。
指定管理者	資料に沿って説明
委 員 長	質疑・意見を求める。
委 員	これまで取り組みをふまえて、利用者数増加以外に、にぎわい交流館の 課題とは何か。
指定管理者	コロナ対策の3年間で、分断された繋がりを、もう一度繋ぎなおしたい。
委 員	繋がりを取り戻すとは、利用者数の事と思うが、資料に令和元年以前の 利用者数がないので、令和元年以前の状況を教えてほしい。
指定管理者	資料がないので、具体的な数字は不明だが、令和元年が利用者数のピー クだと思う。当時は、会議室もサロンも利用者が多く賑わっていた。
委 員	時代や利用者のニーズにあったイベントを行えば、コロナ以前の利用者 数に戻ると予想しているか。
指定管理者	そこを目指していきたい。ただ、コロナでライフスタイルが変わり、利 用者は、にぎわい交流館に来なくても会議ができるようになったため、 全て元に戻る事はないと考えている。
委 員	2017年からにぎわい交流館を利用している。当時は、サロンで音楽 演奏を行ったり、ランチを会議室で食べたりしていた。コロナ対応の解 禁が昨年なので、感染症の警戒等で利用者の戻りが遅いのではないか。 ただ、ゆっくりでも良いから少しずつ前進できると良い。

委 員	新しくにぎわい交流館を利用する団体の年齢層は、どの様な方か。
指定管理者	年齢層は、４０代から６０代くらいの方が所属する団体。
委 員	現役で仕事をしている世代が、市民活動に参加するのは良い傾向と思う。 あと、学生が参加した取り組みも教えてほしい。
指定管理者	高校生の総合的な学習の時間があり、にぎわい交流館に学校から派遣されたので受け入れた。活動内容は、わいわいフェスティバル実行委員の話を聞いたり、ボランティア活動に対するイメージのアンケートをした。その回答で、ボランティアとは何であるのかわからないとの回答が印象的だった。
委 員	１０代の若い年齢層の利用者が、にぎわい交流館の活動に参加する事により、新しい層の賑わいが創出できると良い。
委 員	８ページ番号９の「日進のソーシャルグッドをつくる人」の事業説明で、多様な年代、初利用者が４割の参加、新しい層にアプローチできた企画と報告しているが、どんな方法で、利用者を集客したのか教えてほしい。
指定管理者	集客は、若い方が来そうなカフェでチラシを配布したこと。参加者は、フリーマーケットに興味がある方、店を出店してみたい方が参加された。
委 員 長	議題（３）「令和５年度年次事業評価書」へ移る。指定管理者に退室を求める。
	傍聴人、指定管理者退室
委 員 長	事務局に説明を求める。
非 公 開 部 分	
委 員 長	他に質疑・意見を求めるもなく、次の議題（４）へ移る。 「議題（４）その他」に関して、事務局に説明を求める。
事 務 局	その他について議題無し。
委 員 長	本日の議題の審議について全て終了したが、他にありますか。
事 務 局	特にないため、閉会を宣す（午後７時４０分）